

## 三条かわまちジュニア防災士養成事業

特定非営利活動法人 NPOさんじょう

### 1. はじめに

三条市では平成 16 年の 7.13 水害や平成 23 年の 7.29 水害など、近年の大雨により死者を伴う大規模な災害（水害）を経験したが、経年による意識の風化や年齢的なもので、現在の小学生は大雨が降ってもリアルな危機意識が低く、効果的な防災学習プログラムの実施が小学校現場の課題となっている。

また、平成 23 年の 3.11 東日本大震災以降、小学生でも各種の防災情報を体系的に理解して入手し、早めの準備、安全行動を自律的にとる能動的な学習が大切だと言われている。

NPOさんじょうは平成 26 年 5 月に開所した三条市の防災学習拠点施設「三条防災ステーション・三条市水防学習館」の指定管理者として、通年地域の小中学校や消防団、地域コミュニティなどの防災学習支援に取り組んでいる。

また、NPOさんじょうには、全国区で防災研修開催実績を有するNPO法人にいがた災害ボランティアネットワークの理事長が在籍する他、三条消防署退職職員や災害支援コーディネーター、7.13 水害の被災職員など、防災研修実施に携わる多様な人材を有している。

今回の事業では、組織で有する防災研修のノウハウを活用し、小学生親子に効果的な防災学習プログラムを開発・実施に、小学生親子の防災ワークショップを年 3 回と、親子で聴く「防災講演会」を年 1 回実施。

### 2. ワークショップ

#### ◆気象庁ワークショップ

日 時：7月31日 10:00～12:00

参加者：親子12名（大人5名・こども7名）

講 師：新潟地方気象台

予報官 櫻井哲也氏／技術専門官 大場信之氏

内 容：

経験したことのない大雨！洪水、土砂災害、雷、竜巻などについて学びました。

雨量計に水を入れて実際どのように動くのかを観察しました。非常食の試食もありました。



◆防災デイキャンプ

日 時：10月16日 10:00～12:00

参加者：親子18名（大人7名・こども11名）

内 容：

防災クラフトでは段ボールでテーブルや簡易ベットを作り、牛乳パックでお皿やコップを作り、実際に使用してみました。

アルファ米などの各種非常食を試食しました。

洪水クイズでは災害の際にどう動いたらいいかなど学びました。



◆防災士ワークショップ

日 時：11月6日 10:00～12:00

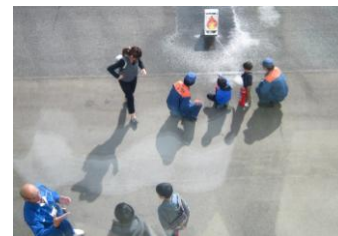
参加者：親子14名（大人7名・こども7名）

講 師：三条市消防本部 消防士2名

内 容：

AED(自動体外式除細動器)の取扱いの説明を受けた後、使用体験してみました。

他に傷病者の搬送方法や、水消火器を使って初期消火の訓練を行いました。バケツリレーでは、防火水槽からバケツを使って手渡しでの消火訓練も行いました。



それぞれのワークショップに参加した子ども達全員に、『ジュニア防災士認定証』を交付しました。

3回すべて受講した方には非常用持ち出し品セットのプレゼントもありました。



### 3. セミナー

#### ◆おやこ防災セミナー

日時：2月4日 9:30~12:00

参加者：親子 20名

講師：小さな命の意味を考える会代表 佐藤敏郎氏

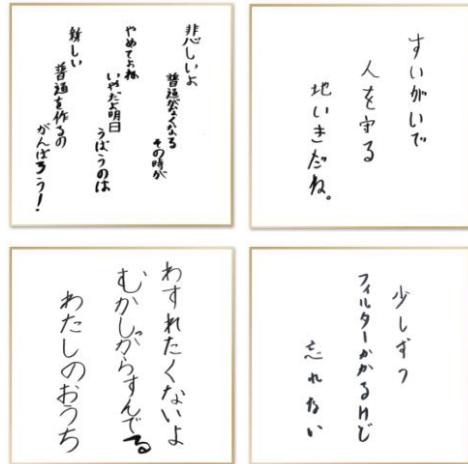
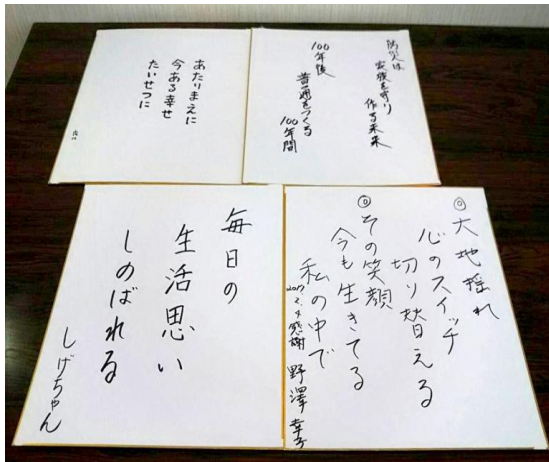
内容：

東日本大震災当時、宮城県女川第一中学校で教師をされていて、大川小学校に通っていた次女が津波で犠牲になったお話をされました。今できることを親子で一緒に考える良い機会になりました。

防災俳句作りでは参加者が考えた防災や災害、家族の絆などをテーマに素晴らしい作品ができました。



参加者の作った防災俳句



### 4. 事業の成果と今後の課題

- ワークショップの人数は予定に満たしていないが、申込みされた親子はそれぞれ防災意識が高く、さらに知識を増やすことができたと思われる。
- ワークショップ3回すべて受講した親子がいた。
- 今回の助成事業の成果により、三条市初のジュニア防災士を輩出し、次年度以降も継続した防災ワークショップの実施により、年々ジュニア防災士の認定者数を増加させていきたい。